

## 大和ハウス、富山で危険物倉庫併設の新施設着工

Edited By LogisticsToday On 2020/05/18

大和ハウス工業は18日、富山県射水市で北陸初となるマルチテナント型物流施設「DPL富山射水」を着工する、と発表した。2021年5月15日の竣工を目指す。



▲DPL富山射水（左）危険物倉庫（右）常温倉庫

同施設は平屋建ての常温倉庫1棟と危険物倉庫2棟で構成されており、常温倉庫に3社、危険物倉庫に2社の最大5社が入居可能。常温倉庫には最大54台が接車できるトラックバースを備えるほか、危険物倉庫では、石油やアルコール、動植物油などの第4類危険物を保管することができる。

開発地は北陸自動車道「小杉インターチェンジ」から1キロと近く、北陸エリアだけでなく、東海エリアへのアクセスも良好な立地となっている。



(出所：大和ハウス工業)

## 施設の概要

名称：DPL富山射水

所在地：富山県射水市小杉インターパーク第二地区土地区画整理事業 施行地内

交通：北陸自動車道「小杉インターチェンジ」から1キロ

敷地面積：4万1968.06平方メートル

延床面積：2万1372.66平方メートル（危険物倉庫棟含む）

構造・規模：重量鉄骨造・平屋建て

設計・施工：北野建設

着工予定日：2020年6月1日

竣工予定日：2021年5月15日

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/377487>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.